

### 第3回材料研究会/九州・西日本支部合同研究会のご案内

高温超伝導体の発見から約30年が経ち、各種高温超伝導線材の商用生産が開始されるとともに、応用・開発も進展してきました。本研究会は、九州・西日本支部と材料研究会との合同研究会として、超伝導線材の接合技術をテーマとして講師の先生方に講演していただきます。LTS マグネット応用においても技術課題である超伝導接続は、HTS 線材においても、高電流密度化や高n値化と並んで、線材の長尺化や永久電流モードを実現するために重要な技術課題です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ：超伝導線材の接合技術最前線

日時：2017年11月24日(金) 8:30～15:40

場所：高知工科大学永国寺キャンパス (A213 教室)

〒780-8515 高知県高知市永国寺町2番22号

URL: [http://www.kochi-tech.ac.jp/kut/about\\_KUT/access.html](http://www.kochi-tech.ac.jp/kut/about_KUT/access.html)

参加費：資料代 2000円

#### プログラム

8:30～8:35 開会の挨拶：材料研究会委員長

8:35～9:10 向山 晋一 (古河電気工業株式会社)：「MRI マグネット向け高温超伝導線を用いた超伝導接続の開発」

9:10～9:55 柳澤 吉紀 (理化学研究所)：「HTS 線材の超伝導接合技術のレビュー～超高磁場 LTS/HTS NMR への適用の観点から～」

9:55～10:30 町 敬人 (産業技術総合研究所)：「金属ナノペーストによる接合」

10:30～10:50 休憩

10:50～11:25 寺西 亮 (九州大学)：「追加堆積膜を利用した REBCO 線材の接合技術の基礎検討」

11:25～12:00 高橋 弘紀 (東北大学)：「高温超伝導接合の磁場中特性」

12:00～13:30 昼食

13:30～14:15 永石 竜起 (住友電気工業株式会社)：「固相成長を用いた REBCO 超伝導接合技術」

14:15～14:50 船木 修平 (島根大学)：「酸素欠損の無い REBCO 超伝導接合技術の提案」

14:50～15:35 齊藤 一功 (JASTEC)：「金属系超伝導線材における接続技術」

15:35～15:40 閉会の挨拶：九州・西日本支部支部長

研究会前日(11月23日(木))に、懇親会を開催予定です。

オーガナイザー：尾崎 壽紀(関西学院大)、淡路 智(東北大)、藤吉 孝則(熊大)、前田 敏彦(高知工科大)、船木修平(島根大)

申し込み先：関西学院大・尾崎 壽紀 E-mail：[tozaki@kwansei.ac.jp](mailto:tozaki@kwansei.ac.jp), Tel：079-565-9741

①参加者氏名、②所属、③電話・E-mail、④懇親会参加の有無を、2017年11月10日(金)までにご連絡ください。